

2025年国際博覧会の誘致に関する決議

2025年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会を大阪・関西が一体となって開催することは、新たな産業や観光のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて圏域の存在感を示す絶好の機会となり、極めて大きな意義がある。

また、このような国際博覧会の開催は、圏域全体のみならず、和歌山県における産業振興や観光文化交流等を促進するとともに、県内各地域の振興や住民の生活向上にも寄与することが期待できる。

本町においても本年5月、日本遺産に認定された『「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～』を、国内外の多くの皆さんに知っていただくまたとない機会となる。

よって、広川町議会は、大阪・関西における国際博覧会の開催を支持するとともに、誘致実現に向けた国内機運の醸成など、必要な取組みを国、大阪府・大阪市、経済界とともに積極的に推進していく。

以上、決議する。

平成30年6月12日

和歌山県有田郡広川町議会